

依頼者	愛知県立瀬戸窯業高等学校
タイトル	命を考える
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境は身近なテーマではあるが、自分とどうつながっているのかについて意識していなかったり、理解していなかったりするところがある。それについて身近なテーマから学び考える機会としたい。 ・知るだけではなく、自分事とし、次のアクションにはつなげる講座としたいとの希望 ・上記のような講座を実施したいが人脈がないため、適当な講師を見つけることが難しい 	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>環境全般から自己肯定感にもつながる命の話をするのが得意であり、他校で同様のお話をされたご経験も多い、アースネットなごやの今井講師に依頼をした。</p> <p>○学習内容の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前事後学習もなく当日の講座のみだと、生徒には何も残らないという事を伝えた。知るだけではなく、自分事とし、次のアクションにつなげる講座にするよう提案した。 ・一言に環境といっても切り口は様々で、その全てが自分を含めた多様な命と関わりがあることや、自らが命をつないでゆく大切な存在であることを知ってもらい、自分を肯定的にとらえていくことを提案した。 	
<p><u>授業内容と当日の様子</u></p> <p><環境全般から命のお話へ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 から 障害児のお話 ・美しい海の悲劇、水俣病について ・私たちの住む地球の美しさ ・そこに生まれた多様な命の ・命を受け継ぐ五本の指について ・紛争と私たちの関連性 <p>(五本の指を戦うために使わねばならない状況の人々もいる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の穀物自給率・エネルギー自給率 ・東北地震と原発 ・命を育む地球と命をつなぐ私たちの関係 	
<p><u>コーディネーターに対する感想</u></p> <p>○依頼者</p> <p>こちらの要望もしっかり受け入れて下さり当日までの打合せがとてもスムーズに進み、とても良かったです。生徒たちも満足した感想を書いてくれました。とても良い経験になりました。講師の紹介ありがとうございました。</p>	



(講座の様子)

○外部講師

コーディネーターが、ここ数年に渡る同校同科でのキャリア教育の経験から、生徒の様子等についても事前に詳細を教えて下さった他、机を取っ払い椅子をU字型に配置することや自己肯定感につなげることもご提案いただき、やりやすかった。また、当日私がお話した内容を受けて、結果的にアクションにまでつながったことを伺いました。フィードバックもしていただき、ありがとうございました。

その他

○今後の展開

環境学習の事後学習としては、特別に時間を設けることはないが、日々の授業の中で、先生方より講師の話を都度取り上げていただくことにより、今後も、環境や命について考えたり、アクションにつなげたりしていくよう提案した。

依頼者	愛知県立田口高等学校
タイトル	生活排水と地域の環境を考える
<u>コーディネーターへの相談内容</u> ○依頼者のご要望 ・奥三河の森林や自然環境での体験学習や、「大気」、「水資源」をテーマにした環境学習を実施したい。そのためのプログラムと手法をアドバイスいただきたい。 ・環境概論の教科の50分間を使つての授業を実施する。 ・校内ででき、生徒が測定・実験できるような「大気」や「水」に関する環境学習をしたい。	
<u>コーディネーターの対応</u> ○外部講師の紹介 ・愛知県環境調査センター職員 ・愛知県東三河総局新城設楽振興事務所職員 ○学習内容の提案 ・水源域に住んでいる生徒を対象に、下流に行くに従つて水が汚れてきている現状を知らせ、水を汚さない行動や施策を促すように思考を揺さぶる「しかけ」が必要であり、自分の事として捉えさせるために身近な例・問題を提示すること。 ・環境を学ぶ田口高等学校の「自然探究コース」の生徒を対象に、キャリア教育の側面も併せた授業を展開するため、講師2名の業務内容についてもお話しいただくこと。 ・環境問題は人間の暮らしと密接に関わっていることを知らせ、自分達の暮らしを振り返らせるような時間を設けること。 ・自分達が暮らしている環境がどのように変化してきているのかを知らせ、未来を考えさせ、今、どうすることが大切か、自分達にできることを話し合わせる時間を設けること。 ・生徒の環境問題に対する意識等を事前に講師に伝えること。	
<u>学習内容と当日の様子</u> 愛知県職員が実施している環境保全業務についての話をした後、学校近くを流れる上流の水(寒狭川)と、生活排水のサンプルとしてオレンジジュース、スポーツドリンク、緑茶を2500倍に薄めたものと、下流の水(佐奈川)との水質比較実験を説明し、水質実験として、グループ毎にパックテストを行った。 実験を通して、生徒が水環境や川の水質についての興味・関心を持たせ、日々の暮らしの中で自分たちが出している生活排水が川の汚染にどれだけ影響しているか目で見ることで実感させ、川を汚さないために何ができるかを考えさせ、行動を促した。	
 (パックテストによる水質検査)	

コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・地元の様々な機関から講師を招くことができ、環境に関する仕事について生徒も知ることができたと思います。
- ・学校では教えられなかった生活排水の予備知識を講義していただき、実際に河川の調整に携わる方に実験の指導をいただけて良かった。
- ・環境に関しては専門外の教員が多く、今回のように専門家を紹介いただけるのはとても良いと思います。
- ・環境学習コーディネーターが、これからも教員と専門家のかけ橋となって欲しい。

○外部講師

- ・多くの人に環境に対する関心を持ってほしいし、正しい知識を身に付けてほしいので、このような機会を増やしてほしい。
- ・緊張しましたが、コーディネーターが場の雰囲気をやわらげてくれました。

その他

特になし

依頼者	愛知県立豊田東高等学校
タイトル	ジビエ料理を知ろう！
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「調理」を選択している生徒を対象に、ジビエ料理を教える講師の紹介 ・調理実習のための猪肉の調達先についても知りたい 	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>ジビエ料理の講師として名古屋調理師専門学校フランス料理教授である向山登氏を紹介</p> <p>○学習内容の提案</p> <p><講師に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習だけで終わるのではなく、①獣害とは、②ジビエ料理が獣害とどう関係しているのか、どう有効なのか、③猪肉・鹿肉を使うと獣害対策に貢献できるのか、といった話をさせていただくこと。 ・獣害の問題と人間の暮らしのつながりについて生徒が考えや意見を発言し、意見を交わす場を設けること。 <p><依頼者に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業プログラムに即した学習内容にするため、依頼者が考えている授業内容を外部講師に丁寧に伝え、当日の内容に反映させること。 ・ESDの視点や手法を交えて授業に取り入れることとして下記の3点を提案した。 <ul style="list-style-type: none"> ①知識や情報を教える受身の授業だけではなく、参加型体験型プログラムを授業にとりいれること。 ②環境問題を自分の問題として捉え、「自分事」として認識し、「自分は何をすればよいのか」等について、ペア学習、グループワーク、全体討論など話し合いの時間をもつこと。 ③未来の地球、未来の愛知、未来の豊田の環境を想像し、どんな町、環境だったら暮らしやすいか、そのためには今何をすればよいのかについて、話し合う時間を持つこと。 	
<p><u>学習内容と当日の様子</u></p> <p>自分達の住んでいる豊田市内に獣害の問題があり、その実態と原因を知り、自分たちには何ができるかについて意見を交わし、考えを整理する授業とする。また、猪肉・鹿肉で調理し、食することが、獣害対策の一つとなり、問題を広く社会に伝えるきっかけになることを学ぶ。その後ジビエを使った調理を実施。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(獣害についての講義)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(調理実習の様子)</p> </div> </div>	

コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・ 獣害とジビエ料理の関係性を学ぶことができ、自分たちができることを知った。
- ・ 打合せで事前に授業内容を伝えたので、当日はスムーズに進行した。
- ・ 授業作りはとても分かりやすかったです。

○外部講師

学校との日程調整、とても助かりました。事前打合せがしっかりしてあったので、スムーズに授業ができました。

その他

○今後の展開

獣害について更に深めた学習を行いたい。獣害について、猟師など現場について話してくれる講師を紹介してほしい。(その後、No. 12の依頼へ発展した)

依頼者	愛知県立豊田東高等学校
タイトル	獣害について
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月29日(火)に行ったジビエの調理実習を受けて、獣害学習をさらに深めたい ・1年生「生物基礎」の授業にて、「獣害」について学習するための外部講師の紹介 ・豊田市は「獣害」が多く、生徒に身近な問題として認識させたい 	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>愛知県の獣害の状況に詳しく、対策を実施している、愛知県農業総合試験場職員</p> <p>○学習内容の提案</p> <p>獣害を生物多様性保全の観点から理解できるように、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①獣害がなぜ起きているのか ②豊田の自然環境と人間の開発について ③野生動物と人間の共生について ④自然保護と開発の調和について ⑤高校生にできること、豊田市民にできること <p>についての講義、ビジュアルを使った現状の説明をしていただきたい、と提案をした。</p> <p>また、日々つながりが見えにくい、「獣害」の問題を「自分事」に捉えられるよう、生徒に示唆していただきたいと提案した。</p>	
<p><u>学習内容と当日の様子</u></p> <p>愛知県における野生鳥獣による農作物被害の現状について、ビジュアルを使って説明し、農家にとってかなり深刻な状況になりつつあることを伝えた。具体的に、新城設楽地域の被害状況と、豊根村での鹿の対策事例、新城市や岡崎市でのイノシシ対策事例や、愛知県における、シカ、イノシシ対策事例を紹介した。</p> <p>授業を通して、野生生物と人間のつながりについて理解し、獣害を解決する方策、野生生物と人間の共生・共存について考えるとともに、自分たちに何が出来るのかについて意見を持つ。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(スライドを使った授業)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(授業中の生徒の様子)</p> </div> </div>	

コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・生徒たちの関心も深く、真剣に聞き入っていた様子を見て、外部講師に来ていただいてよかったです。
- ・動物の写真を見て、かわいいと言っていたが、獣害に対して人間がどうしていくか話し合いの場を設けたと思う。
- ・さらに深めた授業として、捕獲・解体についても行っていきたいと思っています。

○外部講師

- ・事前に教員の求めている授業内容について打合せをすることができ、授業とも関連づけることができた。今後につながる授業になったと思います。
- ・学生に直接伝える機会を頂き、感謝しています。
- ・学生が興味関心を持つために映像を多く準備し、効果的だったが、可愛いが先に立つ場合もあり、深刻さを伝える映像の必要性を感じました。

その他

○コーディネーター事業からの発展

この授業の継続として1年生「生物基礎」における「獣害」特別授業を開催した。

【目的】1年生「生物基礎」で学んでいる「生物多様性の保全」の単元において、豊田市の中山間地で問題になっている「獣害」について取り上げ、生物多様性の保全との関係について学ぶ。

【内容】「生物基礎」の授業において、E S Dの視点を取り入れた授業として、生物多様性の保全と「獣害」についての関係性を探究的に学んでいる。生徒の探究結果を発表し、その評価として「獣害」の専門家である愛知県農業総合試験場職員のお話を聞く。

依頼者	名古屋市立名東高等学校
タイトル	地球温暖化問題と私たちの暮らし、私たちの未来
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <p>今年度の「模擬国連」の授業で、第 18 回気候変動枠組条約締約国会議 (COP18) をテーマに話し合った。生徒の関心が高まったので、地球温暖化についてさらに知識を深めたい。世界や日本の状況について学ぶ場をつくりたい。</p>	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>地球温暖化に関する国際会議の参加経験があり、地球温暖化政策を専門とする、名古屋大学大学院環境学研究科特任准教授の杉山範子氏</p> <p>○学習内容の提案</p> <p><講師に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の現状だけではなく、国際社会の中での日本の役割や発展途上国との関係について、国際会議に参加された経験からの実態の情報提供をしていただきたい。 ・国際英語科の生徒を対象にするため、真のグローバル人材として、「気候変動」「地球温暖化問題」をどう捉えることができるのかについて示唆していただきたい。 ・講義だけでなく、生徒自身が考え、意見を出せるような参加型の授業設計にいただきたい。 ・学校の設定教科「ワールドスタディーズ」のプログラムに即した学習内容にするために、依頼者との打合せ時間をいただきたい。 <p><依頼者に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の持つ専門性が活かされる授業にするため、これまで実施した授業内容、模擬国連の内容や成果、ワールドスタディーズのテキストなど外部講師に提供し、打合せをする時間を確保していただきたい。 	
<p><u>学習内容と当日の様子</u></p> <p>地球温暖化のメカニズムを学び、温暖化の現状と影響、被害について理解する。地球温暖化に対して、現状、国際社会や日本はどのような政策、施策を展開しているのかを学ぶ。今後、国際社会の中で日本はどのような方策をとることができるのかについて考える。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(スライドによる授業)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(授業中の生徒の様子)</p> </div> </div>	

コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・学校からはお願いできないような講師を紹介してもらえ、日程調整までしてくださり、助かりました。
- ・授業内容に関してはメールにて何度も打合せをさせていただき、教えて欲しいことが伝わり、よかったです。

○外部講師

- ・普段、接点のない高校生に対して、環境の授業を行えることは大変貴重な機会であり、感謝しています。この授業は、コーディネート事業及びコーディネーターがいなければ実現できませんでした。今後ともぜひ、このような機会を増やしていただければと思います。
- ・全体的に緊張していた様子だったため、リラックスさせる始めの導入の工夫が必要だった。

その他

特になし